

拔萃

土木

○曲上筋 (Bent up bar) = 用ユベキ圖表 鐵筋混凝土桁の設計に際し最大力率に對し或る與へられたる斷面にて要する鐵筋量及鐵筋量の如何程までを曲け上げ得可きかを知らんと欲する事屢々あり、茲に掲けたる圖表は此の如き要求を滿すべきものにして今其の使用法を説明せんかため  $M = \frac{W L^2}{10}$

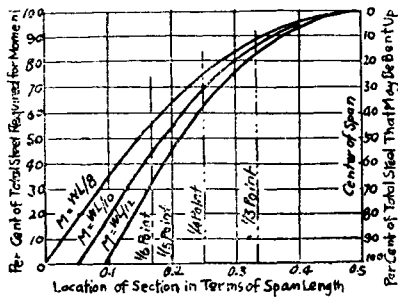


DIAGRAM FOR PERCENTAGES OF TOTAL STEEL REQUIRED AT SECTIONS OF BEAMS

にて設計されたる桁は徑間の中央にて三、五平方吋の鐵筋を要するものとせば、(但し桁は等布荷重のもの)と二ありとす(徑間の四分の一なる點に於て要する鐵筋の斷面積を見出さんには、圖表中の四分の一なる點を示す線を垂直に  $M = \frac{W L^2}{10}$  なる曲線と交るまで辿り、左方に水平に進む時は六八%の鐵筋を必要とする事を知らん、然るときは四分の一なる點に於て力率に對し必要なる鐵筋の面積は  $0.68 \times 3.5 = 2.38$  平方吋なる事を知らん、茲に注意せざる可らざるは此圖表は只等布荷重を有する桁の抗張鐵筋に要する面積のみを考へたるのみなる事又附着應力及斜張力に對する鐵筋は曲上筋を決定する以前に考究せざる可らざる事なり。

Eng. Record, Aug. 19, 1916.

(2)

○鐵筋混凝土桁ニ於ケル鐵筋量ヲ求ムル圖表 茲に掲けたる圖表は與へられたる高さ幅とを有する桁にて其の用ふべき鐵筋の量の割合を與へられたる時に鐵筋の所要面積を見出す